

正倉院フォーラム大阪

～宝物の魅力を語る～

参加者
募集

2017年9月17日(日) 午後1時30分開演

松下IMPホール▶ 大阪府中央区城見1-3-7

※地下鉄長堀鶴見緑地線「大阪ビジネスパーク駅」より徒歩1分、JR環状線・東西線、
京阪本線「京橋駅」より徒歩5分、JR環状線「大阪城公園駅」より徒歩7分

プログラム

基調講演

「正倉院宝物は
シルクロードを渡ってきたのか?」

西川 明彦氏(宮内庁正倉院事務所長)

対談

「正倉院宝物の模造からわかること」

西川 明彦氏(宮内庁正倉院事務所長)

小林 泰弘氏(京都美術工芸大学教授)



緑瑠璃十二曲長坏
みどりるりの じゅうにきょくちようはい



金銅水瓶
こんどうのすいびょう



ひつじきょうけちのびょうぶ
羊木臍額屏風

【お問い合わせ】

読売新聞大阪本社文化事業部

06-7732-0063(平日午前10時～午後5時)

【公式サイト】

<http://www.yomiuri.co.jp/shosoin/>

主催: 読売新聞社、読売テレビ

後援: 奈良国立博物館

協賛: 岩谷産業、NTT西日本、関西電気保安協会、キヤノン、京都美術工芸大学、近畿日本鉄道、JR東海、
JR西日本、シオノギヘルスケア、ダイキン工業、大和ハウス工業、白鶴酒造、丸一鋼管、大和農園

正倉院フォーラム大阪

参加者
募集
参加無料

第69回正倉院展に先立ち、展覧会をより深く理解していただくための「正倉院フォーラム」を開催します。
今年の正倉院展の見所を中心に紹介します。

スケジュール

13:30 開演、主催者あいさつ

13:35 基調講演「正倉院宝物はシルクロードを渡ってきたのか？」

にしかわ あきひこ
■西川 明彦 氏(宮内庁正倉院事務所長)



1961年生まれ。専門は工芸学。京都市立芸術大学大学院美術研究科修了。博士(美術)。1988年に宮内庁正倉院事務所に入所、保存課の研究員として正倉院宝物の保存および調査研究に従事。整理室長、調査室長、保存科学室長、保存課長を経て、2017年より現職。編著書に『正倉院宝物の装飾技法(日本の美術486号)』(至文堂)、『正倉院の武器・武具・馬具(日本の美術523号)』(ぎょうせい)など。

14:15 休憩

14:30 対談「正倉院宝物の模造からわかること」

■西川 明彦 氏(宮内庁正倉院事務所長)

こばやし やすひろ
■小林 泰弘 氏(京都美術工芸大学教授)



1959年生まれ。東京藝術大学大学院美術研究科文化財保存学専攻修了。株式会社京都科学工芸部に入社し、京都東寺木造四天王立像・奈良長谷寺木造地藏菩薩坐像・京都国立博物館石碑佛ほか多数の文化財修復に携わる。また、香川県願興寺の乾漆聖観音坐像の復元模刻を行った。2015年4月から京都美術工芸大学特任教授、2016年4月から現職。

15:30 終演

応募方法 下記の応募フォームにご記入の上、ファクス(06-6366-2370)でご応募ください。

※1枚で2名様までとさせていただきます。8月31日(木)必着。定員は750名で、応募多数の場合は抽選いたします。ご質問があれば書き添えてください。参加無料です。当選された方には、9月8日(金)までに参加証をお送りします。

※その他の応募方法:はがきに、代表者の郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号と同伴者(1名まで)の氏名、年齢を書いて

〒539-0041(住所不要)読売新聞大阪本社文化事業部 正倉院フォーラム大阪)係へご応募ください。

または、ホームページ(<http://www.yomiuri.co.jp/shosoin/>)に応募フォームがあります。

【お問い合わせ】読売新聞大阪本社 文化事業部 電話:06-7732-0063(平日午前10時~午後5時)

※切り離さずFAXでお送りください。

お名前(同伴者がいる場合は代表者名):

同伴者のお名前:

()歳

()歳

ご住所:〒

お電話番号:

ご質問など:

※ご記入いただいた個人情報は、読売新聞社が「正倉院フォーラム」の運営のためだけに使用させていただきます。

第69回正倉院展

10月28日(土)~11月13日(月)

詳細はホームページをご覧ください。
(ヨミウリ・オンライン) <http://www.yomiuri.co.jp/shosoin/>
(奈良国立博物館) <http://www.narahaku.go.jp/>

奈良国立博物館

奈良市登大路町50
ハローダイヤル050-5542-8600